

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第30週[7月26日～8月1日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
 E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

警報発令疾患：手足口病

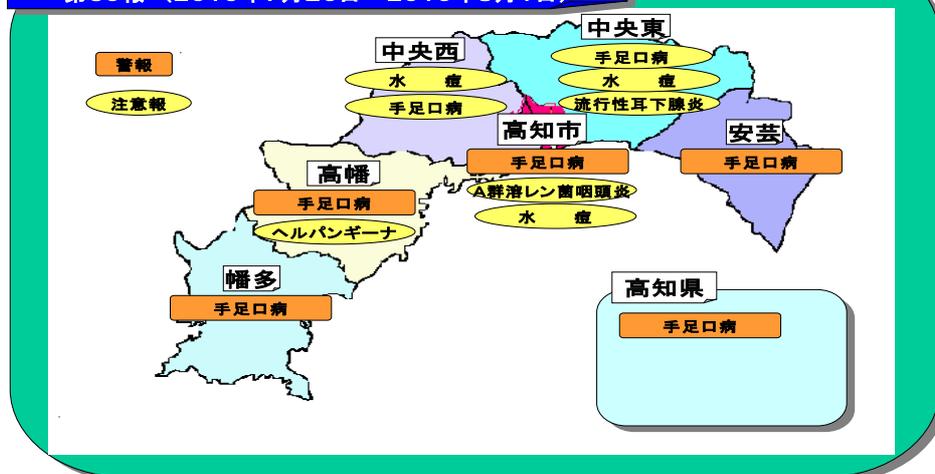
- ・ 連日30℃を超える真夏日となっており、全国で熱中症が多発している。
- ・ 手足口病（高知市：警報→警報，幡多：警報→警報，高幡：警報→警報，中央東：警報→注意報，中央西：警報→注意報，安芸：警報→警報）は前週比69%と引き続き減少しているが、殆どの地域がまだ警報値を大幅に超している。
- ・ 水痘（中央西：注意報→注意報，中央東：注意報，高知市→注意報）は中央医療圏で増加し、総数は引き続き増加している。この時期としては報告数が多い。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（高知市：注意報→注意報）は引き続き減少し、中央医療圏のみの報告となった。

上位疾患構成図



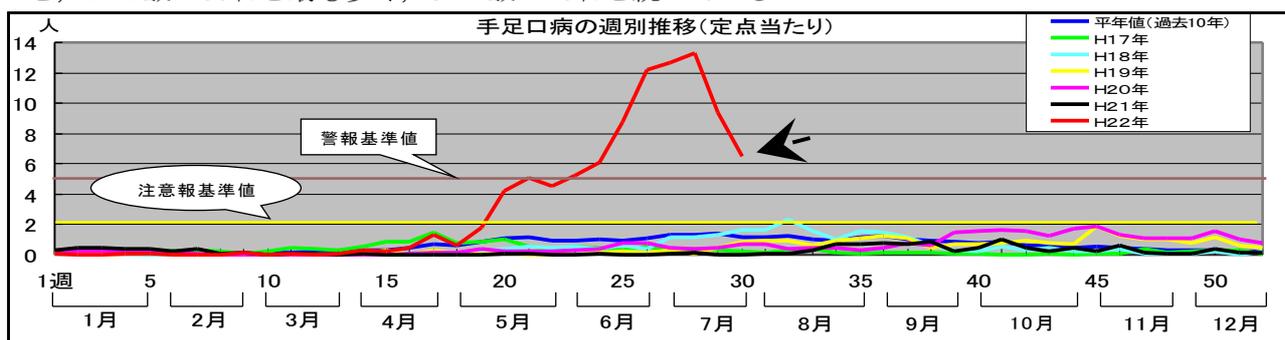
地域別感染症注意報・警報発生状況

第30報 (2010年7月26日～2010年8月1日)



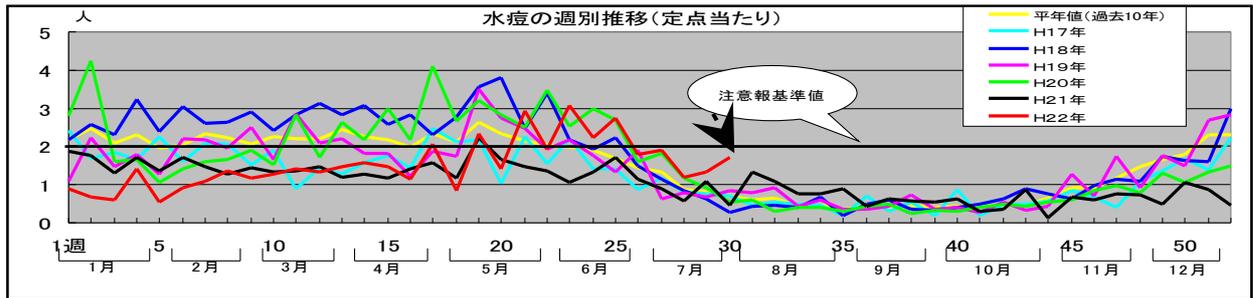
手足口病：今週6.47 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

第28週をピークに減少傾向にあるが、依然、警報値を越す大流行が続いている。今後もこの減少傾向は続くと思われるが、通常の発生状況に戻るにはまだまだ時間がかかりそうである。年齢別にみると、1～2歳が39%と最も多く、3～4歳が25%と続いている。



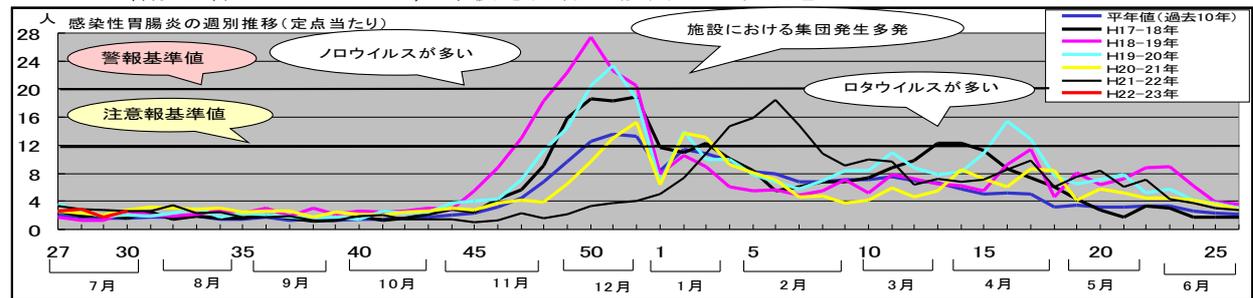
水痘：今週1.70（注意報値：2.00 警報値：4.00）

総数は引き続き増加しており、ここ数週、例年より高い発生で推移しているが、例年、この時期から11月初旬頃までは低レベルで推移するため、今後の大幅な増加はないと思われる。



感染性胃腸炎：今週2.67（注意報値：10.0 警報値：20.0）

前週減少に転じていたが、前々週並みに増加した。例年、この時期から11月初旬頃まではこのレベルで増減を繰り返しており、今後も同様の傾向を示すと思われる。



○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
30	急性肺炎	1歳女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ肺炎	3歳男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	気管支炎	37歳男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
29	手足口病	1歳女	高幡	Enterovirus 71
29	手足口病	4歳女	高幡	Enterovirus 71
29	手足口病	3歳男	高幡	Enterovirus 71
30	不明発疹症	4ヵ月男	高知市	Enterovirus 71
30	気管支炎	9歳男	高知市	Enterovirus 71

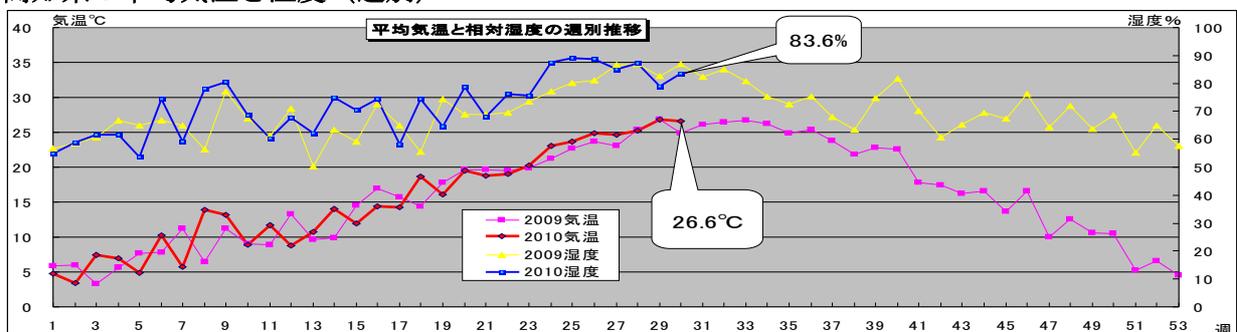
○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 5例（40,79歳女, 69歳男）《高知市》（73歳男）《中央西》（81歳女）《須崎》（今年90例）

5類感染症：ウイルス性肝炎（C型） 1例（72歳女）《高知市》（今年3例）

A型肝炎（64歳女）《高知市》（今年2例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 6例（1～6歳男女）
マイコプラズマ感染症 1例（5歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：手足口病は減少したものの発生が続く
カンピロバクター腸炎 2例（5歳男, 6歳女）

中央西：

《石黒小児科》：単純ヘルペス 1例（12歳男） 帯状疱疹 1例（29歳男）

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（6歳男）は高知市、1例（7ヵ月女）は県外から帰省

高知市：

《福井小児科・内科》：マイコプラズマ肺炎 2例（5歳男，6歳女）

《けら小児科・アレルギー科》：帯状疱疹 1例（3歳男）

カンピロバクター腸炎 4例（8歳女，2，6，11歳男）

サルモネラ腸炎（0-7群） 1例（3歳男）

アデノウイルス扁桃炎 3例（1，5歳男：6歳女）

病原性大腸菌（0-1） 1例（8歳女）

百日咳の1例（28歳女）は東浜株320倍，山口株320倍，DPT接種歴なし

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例（17歳男）

《田野病院小児科》：アデノウイルス扁桃炎 1例（7歳男）

全国情報第28週（7/12～7/18）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核291例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症123例（有症者79例、うちHUS 3例）

4類感染症：A型肝炎3例、オウム病1例、つつが虫病2例、デング熱4例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症11例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群12例（AIDS 2例、無症候9例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒12例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん2例、麻しん14例

※ 2010年第27週までに診断されたものの報告遅れとして、腸チフス1例、日本紅斑熱1例（感染地域：和歌山県）、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、風しん1例などの報告があった。

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年（2010年7月22日現在報告分）

エンテロウイルス71型（EV71）は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年に入ってから例年より早い時期に検出されており、第27週までに高知県67件、鳥取県34件、大阪府、大分県各25件、和歌山県22件、広島県19件、愛媛県16件、山形県13件、愛知県、奈良県各12件、兵庫県9件、栃木県、島根県各8件など西日本を中心に28府県から313件の検出が報告されている。このうち、手足口病患者から253件、無菌性髄膜炎患者から12件、ヘルパンギーナ患者から6件が検出されている。

EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス（CA）16型12件（山形県9件、神奈川県2件、愛媛県1件）、CA6型18件（秋田県、富山県各6件、神奈川県5件、栃木県1件）、CA4型5件（大阪府2件、奈良県、和歌山県、福岡県各1件）、CA5型3件（島根県2件、高知県1件）、CA2型1件（高知県）などが報告されている。

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～28週までの検出総数は252件で、第9～10週に山形県の老人ホームでの集団発生からO111（VT1）が7件、第22週に兵庫県の飲食店での集団発生からO157が3件検出されている。第3週に大阪府でインドネシアへの渡航者、第6週に千葉県でニュージーランドへの渡航者、第16週に静岡県でベトナムへの渡航者、第22週に千葉県で韓国への渡航者各1例からO157が検出されている。

2010年1～7月にO157が32都道府県から153件、O26が17府県から53件、その他の血清型が18都道府県から50件（このうち、O91が9道府県から12件、O111が3県から9件）報告されている。

◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。

直近の2010年第24～28週の5週間ではAH1pdmが6都県から21件（神奈川県、奈良県各7件、兵庫県3件、東京都2件、茨城県、広島県各1件）、AH3亜型が4府県から4件（新潟県、大阪府、香川県、福岡県各1件）、B型はビクトリア系統株が広島県から2件、系統不明株が2県から2件（茨城県、沖縄県各1件）報告されている。AH1pdm（21件）は分離・検出例全体（29件）の72%を占めている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は<http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(29週)	高知県(30週未累計) H22/1/4~H22/8/1
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									135 (0.03)	2,546 (53.04)
小児科	咽頭結膜熱		1		2		1	4 (0.13)	8 (0.27)	871 (0.29)	75 (2.50)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	23	1			26 (0.87)	32 (1.07)	2,269 (0.75)	693 (23.10)
	感染性胃腸炎	6	12	33	13	4	12	80 (2.67)	51 (1.70)	8,330 (2.75)	6,947 (231.57)
	水痘		15	23	10	2	1	51 (1.70)	40 (1.33)	3,134 (1.03)	1,373 (45.77)
	手足口病	14	33	76	6	17	48	194 (6.47)	281 (9.37)	10,706 (3.53)	2,805 (93.50)
	伝染性紅斑	1	2	1				4 (0.13)	16 (0.53)	1,286 (0.42)	135 (4.50)
	突発性発疹		3	5	1	2	2	13 (0.43)	13 (0.43)	1,832 (0.60)	362 (12.07)
	百日咳			1				1 (0.03)	4 (0.13)	145 (0.05)	42 (1.40)
	ヘルパンギーナ	2	9	9	4	4		28 (0.93)	55 (1.83)	15,275 (5.04)	875 (29.17)
	流行性耳下腺炎	1	7	2				10 (0.33)	7 (0.23)	3,950 (1.30)	151 (5.03)
	RSウイルス感染症									167 (0.06)	760 (25.33)
眼科	急性出血性結膜炎									3 (0.00)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	4 (1.33)	460 (0.68)	40 (13.33)
基幹	細菌性髄膜炎			2				2 (0.29)		4 (0.01)	9 (1.29)
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.14)	3 (0.43)	35 (0.08)	13 (1.86)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)		172 (0.38)	44 (6.29)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			2				2 (0.29)	1 (0.14)	11 (0.02)	18 (2.57)
計 (小児科定点当たり人数)	24 (12.00)	84 (12.00)	181 (15.73)	37 (12.33)	29 (14.50)	64 (12.80)	419 (13.70)				
前週 (小児科定点当たり人数)	19 (9.50)	88 (12.57)	253 (22.27)	44 (14.67)	30 (15.00)	81 (16.20)		515 (16.90)	48,785	16,890 (526.98)	

注 ()は定点当たり人数。

定点当たり

第30週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(29週)	高知県(30週未累計) H22/1/4~H22/8/1
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									0.03	53.04
小児科	咽頭結膜熱		0.14		0.67		0.20	0.13	0.27	0.29	2.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	2.09	0.33			0.87	1.07	0.75	23.10
	感染性胃腸炎	3.00	1.71	3.00	4.33	2.00	2.40	2.67	1.70	2.75	231.57
	水痘		2.14	2.09	3.33	1.00	0.20	1.70	1.33	1.03	45.77
	手足口病	7.00	4.71	6.91	2.00	8.50	9.60	6.47	9.37	3.53	93.50
	伝染性紅斑	0.50	0.29	0.09				0.13	0.53	0.42	4.50
	突発性発疹		0.43	0.45	0.33	1.00	0.40	0.43	0.43	0.60	12.07
	百日咳			0.09				0.03	0.13	0.05	1.40
	ヘルパンギーナ	1.00	1.29	0.82	1.33	2.00		0.93	1.83	5.04	29.17
	流行性耳下腺炎	0.50	1.00	0.18				0.33	0.23	1.30	5.03
	RSウイルス感染症									0.06	25.33
眼科	急性出血性結膜炎										0.67
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	1.33	0.68	13.33
基幹	細菌性髄膜炎			0.40				0.29		0.01	1.29
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14	0.43	0.08	1.86
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14		0.38	6.29
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.40				0.29	0.14	0.02	2.57
計 (小児科定点当たり人数)	12.00	12.00	15.73	12.33	14.50	12.80	13.70				
前週 (小児科定点当たり人数)	9.50	12.57	22.27	14.67	15.00	16.20		16.90		526.98	

2010年週報推移(定点当たり)

